

※仕様変更に伴い、一部のカバー交換手順が変更となっております

下コテカバー・マット交換手順書

注意

カバー交換を行う際は、必ず電源を切り、スチームを止めて機械が十分に冷めてから作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと火傷をする恐れがあります。

下コテカバー



前カバー
目安線
小物入れ
各部名称

上下カバーの交換は、2人で行うことを推奨します。

上下カバーの区別

下コテカバーには、ズボンセットの為の目安線があります。
(上コテカバーにはこれはありません。)

1 : SUS 棒を古いカバーから新しいカバーに付け替えた後、マットをカバーに取り付けてください。

古いカバーを取りはずす際、スプリングフックの取り扱いには注意してください。(写真参照)

重ねた際に、カバーとマットの凹部の形状が合うことを確認してください。

2 : 小物入れと前カバーを取りはずしてください。

前カバーのネジ2ヶ所は、緩めるだけでカバーを取りはずすことができます。

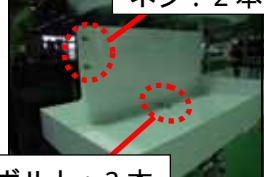
3 : 手順1でセットしたカバーを下コテに乗せ、コテの角(4ヶ所)がマットで覆われるように押えながら紐を強く引っ張り結びます。

目安線が前後コテ間の隙間の中心になるように取り付けてください。

角がマットで覆われていない場合、カバーが破損する恐れがあります。

1 : マットとSUS棒取り付け

ネジ：2本



ネジ：2本

緩めるだけ



ボルト：2本

4 : 結んだ紐を、スチーム入口(手前側)に回し、強く引っ張り結び固定してください。

5 : スプリングフックを図のようにセットしてください。

スプリングフックは必ず輪の部分を持ってください。

6 : 手順2で取りはずした前カバーと小物入れを取り付けてください。

2 : 小物入れと前カバーの取り外し

角をマットで覆い、紐を結ぶ。



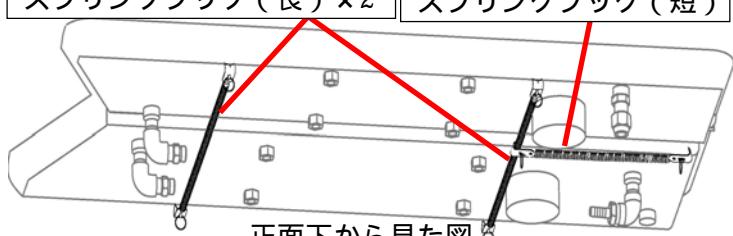
手前側の配管に回し、強く引っ張り固定する。



3・4 : カバーの取り付け

スプリングフック(長) × 2

スプリングフック(短)



正面下から見た図

スプリングフックは、SUS棒に引っ掛ける。

5 : スプリングフックの取り付け

6 : 小物入れと前カバーの取り付け

管理番号	SP-DP-LPC-J-1			適応機種	発行者	三幸社
日付	2009年11月	REV	1	DP830	裁断	SANKO S H A

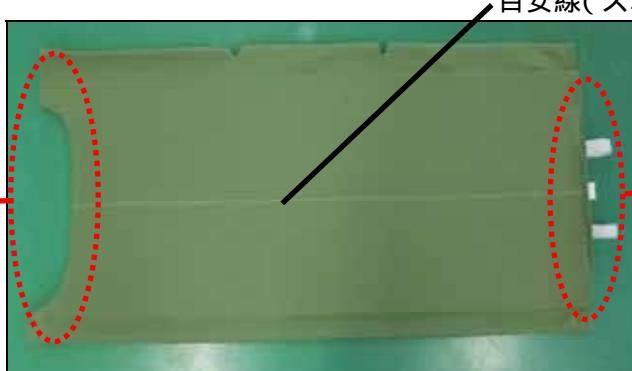
中カバー・マット交換手順書

△ 注意

カバー交換を行う際は、必ず電源を切り、スチームを止めて機械が十分に冷めてから作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと火傷をする恐れがあります。

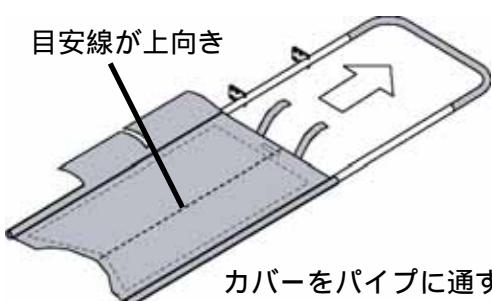


確認!!



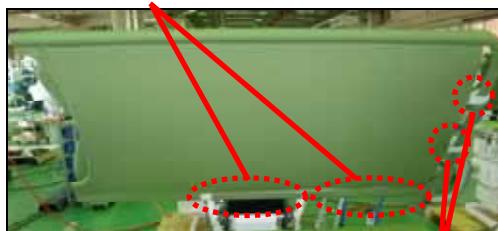
マジックテープで留める。

1 : カバーの準備



2 : カバーの取り付け

マジックテープ



マジックテープ
引っ張りすぎない。

3・4 : マジックテープの取り付け

1 : 中カバーの中に、中マットを入れ、マジックテープで留めてください。

入れる際に、中カバーと中マットの形状が合うことを確認してください。

2 : 手順 1 でセットした中カバーをパイプに通します。

目安線が上向きであることを確認してください。

3 : マジックテープ を取り付けます。

4 : マジックテープ を取り付けます。

5 : 取り付け後、中カバーを降ろした際に、下コテカバーの目安線と中カバーの目安線が重なっていることを確認してください。



5 : 目安線の位置確認

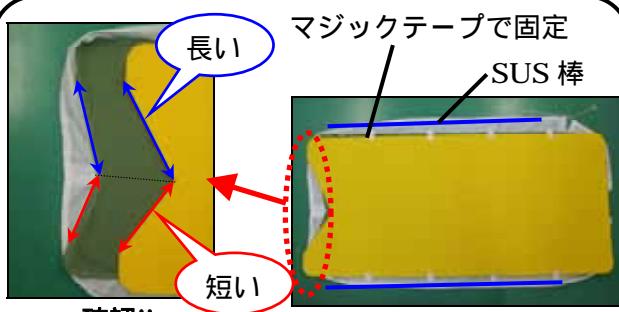
管理番号	SP-DP-MPC-J-1			適応機種	発行元	三幸社
日付	2009年11月	REV	1	DP830	裁断	SANKO S H A

上コテカバー・マット交換手順書



カバー交換を行う際は、必ず電源を切り、スチームを止めて機械が十分に冷めてから作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと火傷をする恐れがあります。

上下カバーの交換は、2人で行うことを推奨します。



1 : マットと SUS 棒取り付け

上下カバーの区別

上コテカバーには、ズボンセットの為の目安線がありません。
(下コテカバーには、これがあります。)

1 : SUS 棒を古いカバーから新しいカバーに付け替えた後、マットをカバーに取り付けてください。

古いカバーを取りはずす際、スプリングフックの取り扱いには注意してください。(写真参照)

重ねた際に、カバーとマットの凹部の形状が合うことを確認してください。

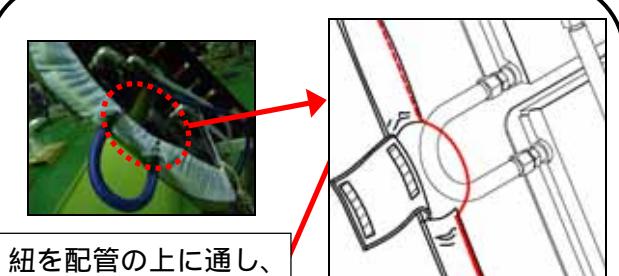
2 : 図のように、上コテにカバーを被せ、配管部のカバーを紐にまわしマジックテープで固定し、コテの角(4ヶ所)がマットで覆われるように押えながら紐を強く引っ張り締びます。

コテの角がマットで覆われていない場合、カバーが破損する恐れがあります。

3 : スプリングフックを写真のようにセットしてください。

スプリングフックは必ず輪の部分を持ってください。

スプリングフック(長)は、SUS 棒に引っ掛けてください。



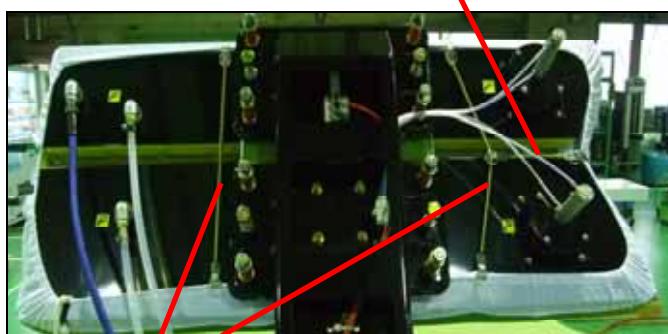
紐を配管の上に通し、カバーを取り付け

カバーを紐にまわしマジックテープで固定



2 : カバーの取り付け

スプリングフック(短): 1本



スプリングフック(長): 2本

スプリングフック(長)は、SUS 棒に引っ掛ける。

3 : スプリングフックの取り付け。

管理番号	SP-DP-UPC-J-1			適応機種	発行元	三幸社
日付	2009年11月	REV	1	DP830	裁断	SANKO S H A

カバー交換手順



カバー交換する際には必ず電源を切り、スチームを止めて本機が完全に冷めてから作業を行って下さい。 冷め切らないまま作業を行いますと火傷をする恐れがあります。

1. バキュームカバーの取り付け

- ① 下コテに、バキュームカバーを図1のようにプレートとともにネジで留めてください。

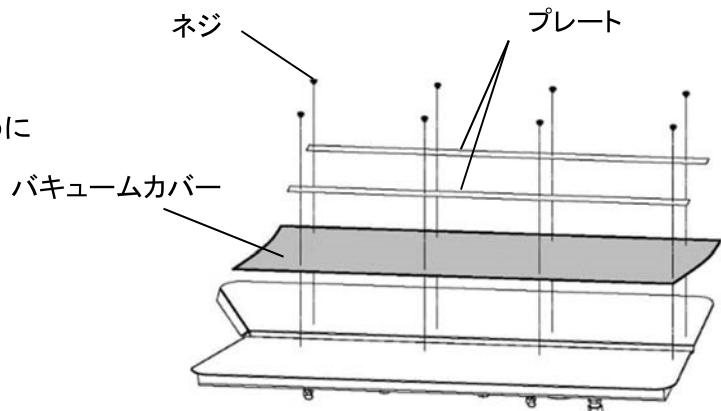


図1

2. 下コテカバーの取り付け

- ◎ 下コテカバーの交換は、エアーを入れ電源を切った状態で行なうことを推奨します。
◎ 上記の注意事項を必ず読んで作業を行ってください。

- ① 下コテカバーに下コテマットをマジックテープで留めてください(取り付けてください)。(図2)

- ② ステンレス棒2本を下コテカバーの左右の穴に入れてください。(図2)

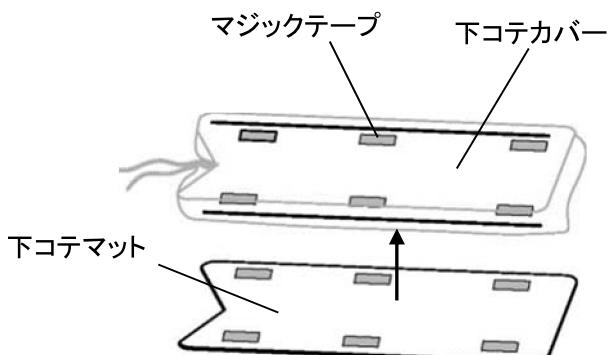


図2

- ③ 下コテマットで下コテの縁を覆うようにカバーを被せ、ひもを強く引っ張り緩まないように結んでください。(図3)
※目安線が、前後コテの隙間の中心になるように取り付けてください。

※取り付け後、下コテマットが縁を覆っていることを再度確認してください。

※下コテマットが縁を覆っていない場合、カバーが破れる恐れがあります。

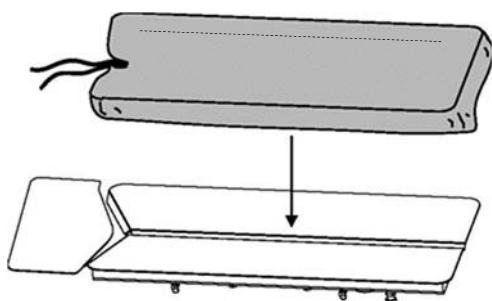


図3

- ④ 結んだひもを下コテ手前側のスチーム入口
(図 4)に廻し、強く引っ張り、矢印部の形状
を作り、結んでください。

- ⑤ 余ったひもをカバーに入れてください。

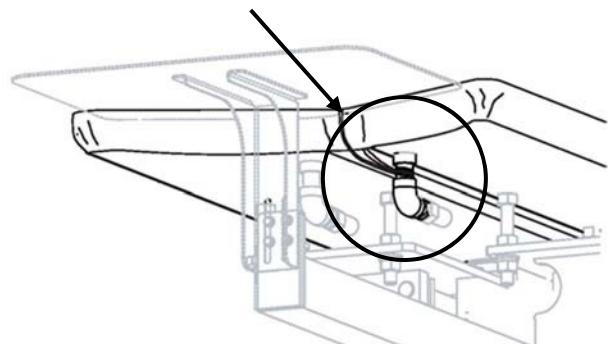


図 4

- ⑥ カバー張里斯プリングユニット(2 本)を、ス
テンレス棒にひっかけるように取り付けてく
ださい。(図 5)

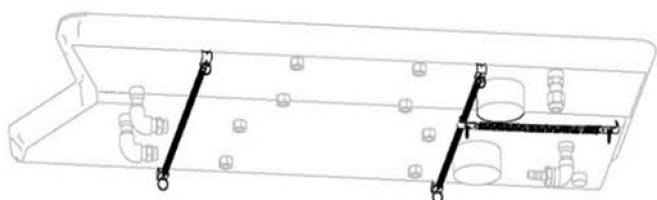
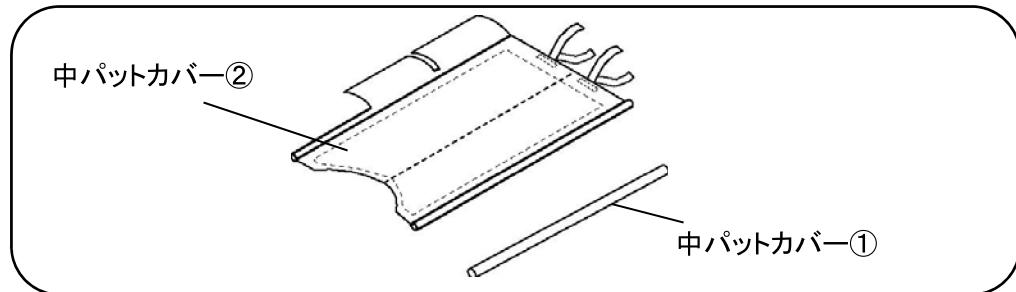


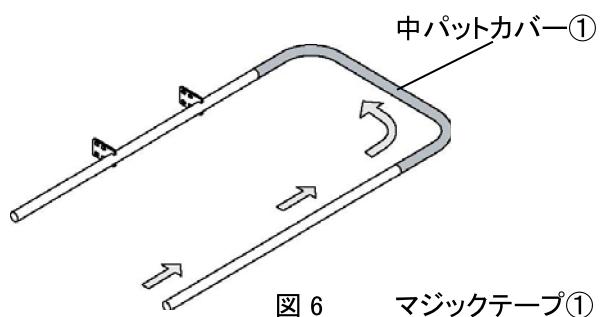
図 5

3. 中パットカバーの取り付け

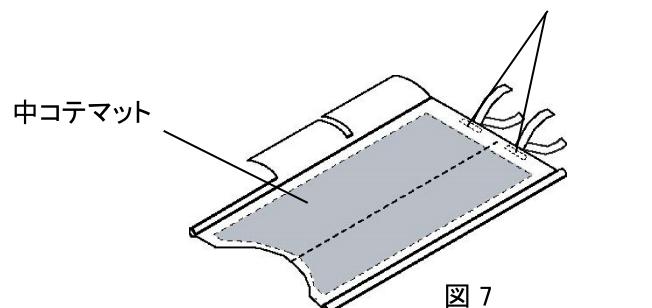
◎ 中パットカバーの交換は、エアーを抜いて電源を切った状態で行うことを推奨します。



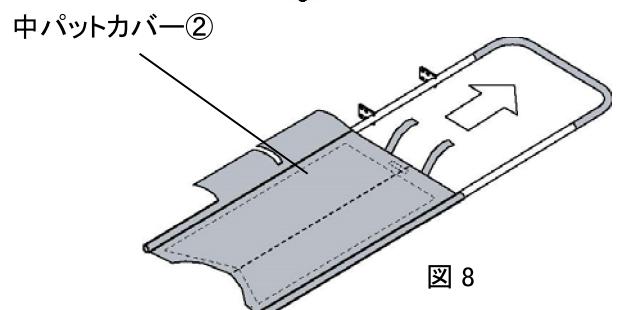
- ① 中パットカバー①を差し込み、図 6 のように取り付けてください。



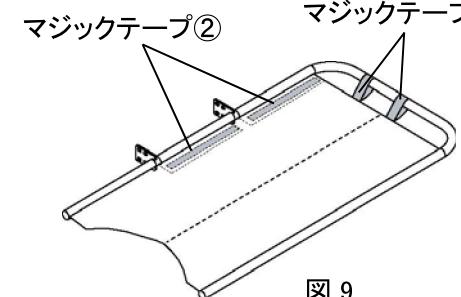
- ② 中コテマットを中パットカバー②に入れてマジックテープ①でとめてください。(図 7)
(カバー中で中コテマットが折れていないことを確認してください。)



- ③ 中パットカバー②を図 8 のように取り付け、マジックテープ②で固定します。(図 9)
※目安線が上面となるように取り付けてください。
※下コテカバーの目安線と中コテカバーの目安線が重なっていることを確認してください。



- ④ マジックテープ③を、軽く引っ張るように取り付けてください。
※強く引っ張りすぎると、マジックテープが破れる可能性があります。



4. 上コテカバーの取り付け

- ① 上コテカバーに上コテマットをマジックテープで留めます。
(図 10)

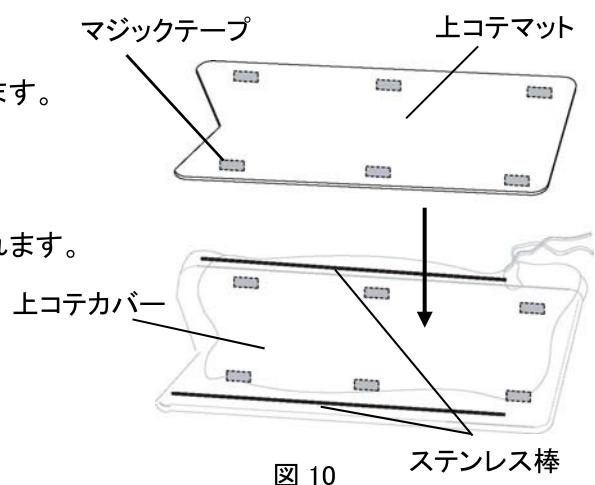


図 10

- ② ステンレス棒 2 本を上コテカバーの左右の穴に入れます。
(図 10)
- ③ 上コテマットで上コテの縁を覆うようにカバーを被せ、ひもを強く引っ張り緩まないように結びます。(図 11)
※取り付け後、下コテマットが縁を覆っていることを再度確認してください。
※下コテマットが縁を覆っていない場合、カバーが破れる恐れがあります。

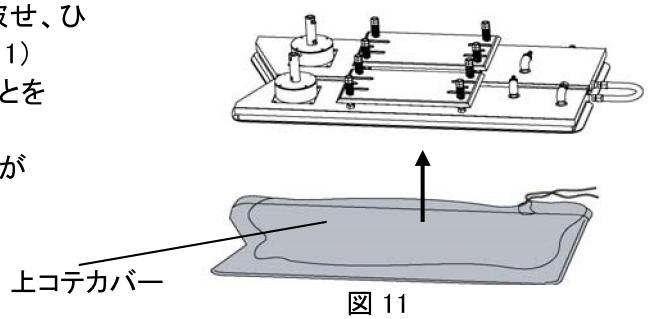


図 11

- ④ カバー張里斯プリング(3ヶ所)を取り付けます。
(図 12)

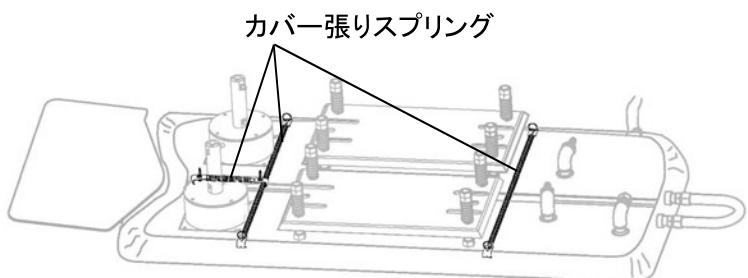


図 12

5. ドレン防止カバーの取り付け

上コテアームと上コテの間に、ドレン防止カバーを差し込んでください。(図 13)

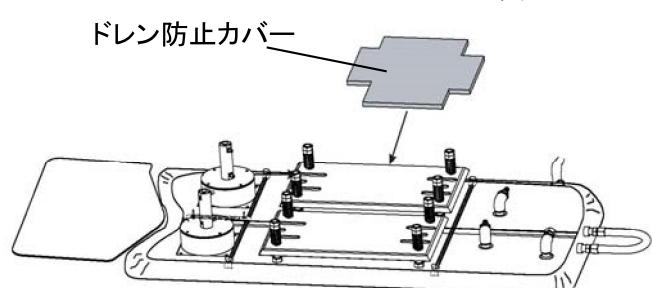


図 13

6. トップテーブルカバー

トップテーブルにシワが入らないように注意してカバーを被せ、ひもでしっかりと縛り固定してください。(図 14)

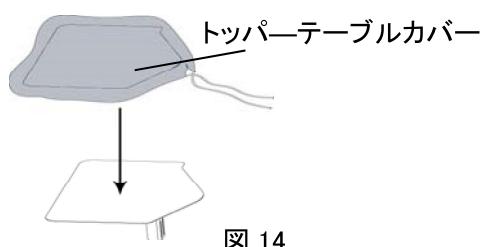


図 14

! 注意

オイルダンパーの注意事項

オイルダンパーは、機種ごとに指定
のメタリングスクリューを指定寸法
にて設定しています。

指定機種以外への流用は、出来ません。
また、メタリングスクリューの調整寸法は、変
更しない。

メタリングスクリュー: No.69

